

第 3 回高度外国人材研究会 事務局説明資料

貿易経済協力局

第3回研究会

日時：令和5年1月24日15:00-17:00

開催方法：オンラインと対面のハイブリッド方式

アジェンダ	スピーカー	時間
1. 開会	事務局	1分
2. 事務局資料説明		5分
3. プレゼンテーション		60分
• 高度外国人材の活躍に必要なDE&I	東京経済大学 小山准教授	20分
• 日立製作所における人財施策	株式会社日立製作所	20分
• 海外採用・定着に向けたI&Dの取組みについて	株式会社メルカリ	20分
4. 意見交換		52分
5. 閉会	事務局	2分
		120分

本日の内容

1. 開会

2. 事務局資料説明

3. プレゼンテーション

- a. 高度外国人材の活躍に必要なDE&I（東京経済大学 小山准教授）
- b. 日立製作所における人財施策（日立製作所様）
- c. 海外採用・定着に向けたI&Dの取組みについて（メルカリ様）

4. 意見交換

5. 閉会

本研究会の進め方

- 本日は、高度外国人材受け入れ拡大に向け、**自社における高度外国人材の活躍しやすい環境作りや方針**に関するご発表・ご意見交換をいただけますと幸いです。

第1回

ゴール

- ・「高度外国人材」についての認識共有
- ・受け入れ拡大に向けた論点整理
- ・税制・制度面に関する課題・現状の詳細把握



アジェンダ案 (各2h 想定)

- ・本研究会設立の背景・基礎情報
 - 検討の必要性
 - 進め方
- ・資料説明
 - 論点の全体像
 - 基礎資料
- ・プレゼンテーション
 - パーソル総合研究所
 - デロイト トーマツ 税理士法人
- ・意見交換

第2回

- ・受け入れ拡大に向けた論点整理
- ・税制・制度面に関する取組み可能性についての議論
- ・中間整理の方向性確認



- ・第1回研究会振り返り
- ・資料説明
 - 制度・税制関連の論点整理
 - 他国制度事例紹介 等
- ・プレゼンテーション
 - 我が国の在留資格
 - 税制面での課題
 - 制度・教育面での要望
- ・意見交換

第3回 (本日)

- ・企業意識改革に向けた議論



- ・資料説明
 - 詳細論点提示
- ・参加者等プレゼン
 - 企業内での取組み・課題意識紹介
- ・意見交換

第4回 (2月下旬)

- ・採用ルート拡大に向けた議論
- ・報告書取りまとめに向けた研究会全体のラップアップ



- ・第3回研究会振り返り
- ・資料説明
 - 詳細論点提示
 - 企業取組みベンチマーク
 - アンケート結果 等
- ・参加者等プレゼン
 - 企業内での取組み・課題意識紹介
- ・意見交換

第2回までの議論を元に、中間整理

3月上旬に報告書として取りまとめ

本日の内容

1. 開会

2. 事務局資料説明

3. プレゼンテーション

- a. 高度外国人材の活躍に必要なDE&I（東京経済大学 小山准教授）
- b. 日立製作所における人財施策（株式会社日立製作所様）
- c. 海外採用・定着に向けたI&Dの取組みについて（株式会社メルカリ様）

4. 意見交換

5. 閉会

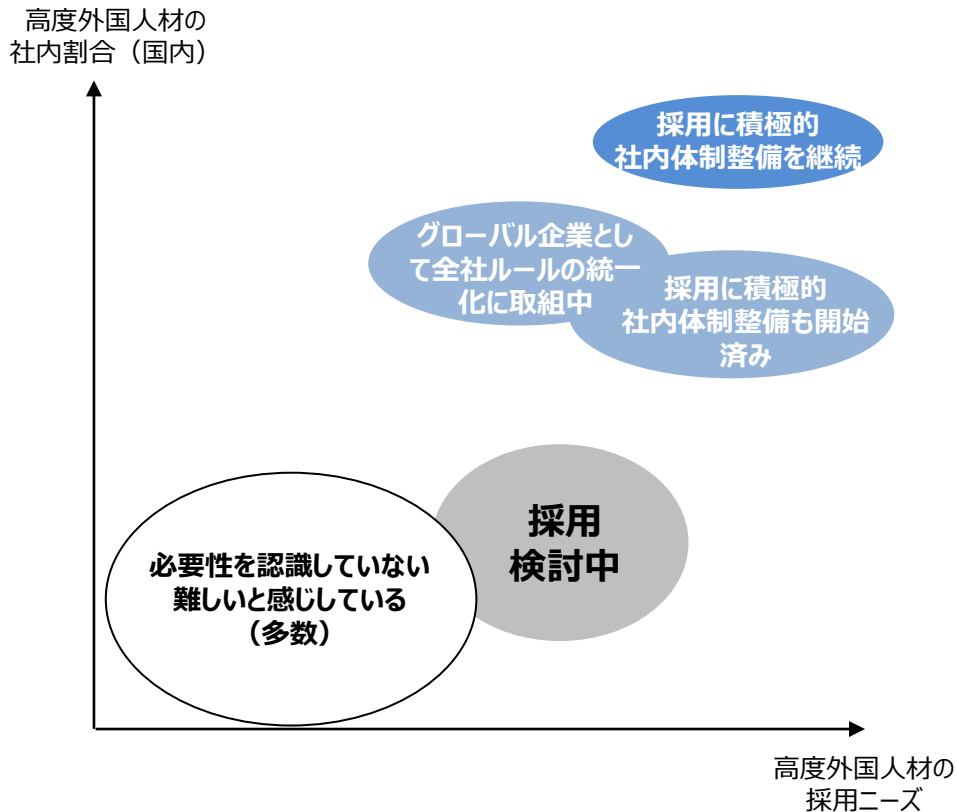
本日の議論の方向性

- 高度外国人材受入れ拡大に向けては、第1回、第2回研究会の議論の中心であった制度・税制に関する課題への対応だけでなく、受入れや活躍しやすい環境作りに向けた企業意識への働きかけや採用ルートの拡大についても検討する必要がある。
- 一部の先進的な本邦企業は、イノベーションの創出や経営のグローバル化に向けて高度外国人材の積極的な採用を進めるとともに、活躍しやすい社内環境作りにも努めている。一方で、高度外国人材の採用に積極的でない企業も多い。
- これには、自社の経営戦略を実行するために、高度外国人材の採用が必要とは感じられていないこと、国内事業においては、社内の意思決定プロセスや、顧客との関係で高度な日本語レベルを有することが必要と考えられていることなどが背景として考えられる。
- また、高度外国人材の採用を検討しつつも、実施に至っていない企業においては、社内の英語対応や、住居・給与支払い・評価昇進等の人事対応、外国人材のウェルネスやモチベーション維持対応などが困難と考えられていることが背景と考えられる。
- 本日は、多くの企業において、高度外国人材の採用の検討を困難にしている課題等について、どのように検討し、取り組んでこられたのか、及び企業の取組を行いやすくする政策の可能性についてご発表・ご意見交換をお願いしたい。

高度外国人材の採用・定着に関する企業の意識

- 高度外国人材の採用については、積極的な必要性を感じていない企業、採用を検討しつつも困難と考えている企業も多い。

企業意識のイメージ図



採用を検討しない、採用を検討しつつも困難と考えている理由は多層的

※経済産業省が実施したヒアリング等より抜粋

- 自社の経営戦略を実施するために、高度外国人材の活用必要性を感じていない。
- 自社に合う人材を見つけられない。
- 高度外国人材採用に伴う英語対応への不安。
- 住居・給与支払い・評価昇進等の人事対応コストの高さ。
- 外国人材のウェルネスやモチベーション維持対応への不慣れ。

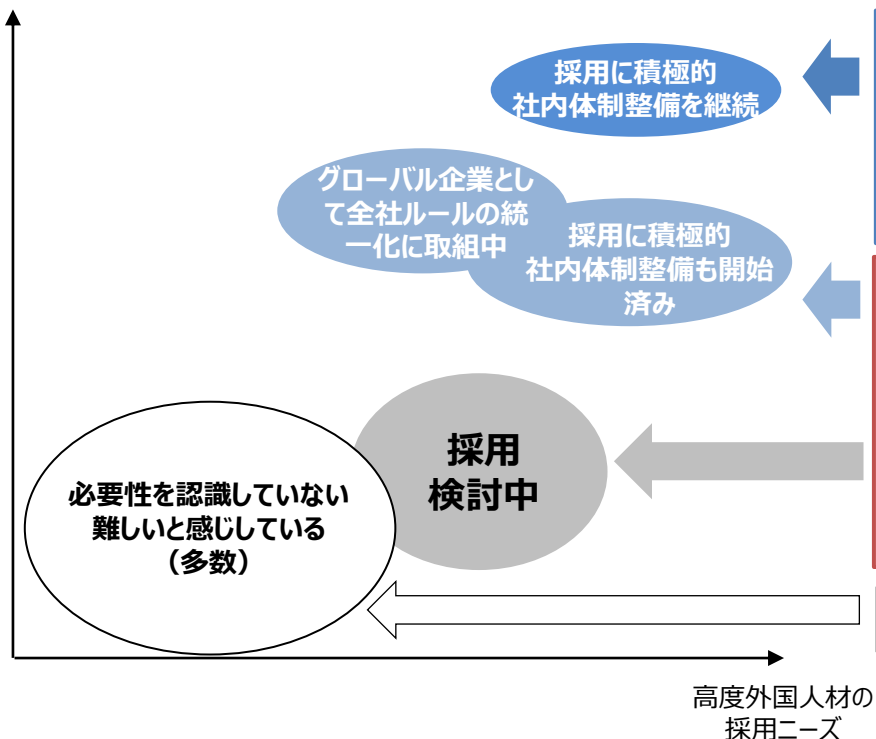
等

高度外国人材の採用検討・受入体制整備につながる経産省の取組

- 外国人材を含めた多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげる「ダイバーシティ経営」を推進。
- 高度外国人材の受入れについては、中小・中堅企業を中心に、社内体制整備を促す伴走型支援や、インターンシップ受入れ機会の提供を通じた高度外国人材の活用検討の機会提供を実施。

企業意識のイメージ図

高度外国人材の
社内割合（国内）



経産省の取組例

※全ての企業タイプにおいて、ダイバーシティ経営を推進

- ✓ 採用後の高度外国人材の活躍推進・定着のための伴走型支援、情報発信
- ✓ 自治体や大学等と連携した高度外国人材の採用促進
- ✓ 現地の大学への寄附講座設置の支援
- ✓ 高度外国人材の採用に向けた社内の体制整備等の伴走型支援
- ✓ ジョブフェアやセミナーの実施
- ✓ 自治体や大学等と連携した高度外国人材の採用促進
- ✓ 国内外の外国人大学生等のインターンシップ受け入れ機会の提供
- ✓ 外国人留学生等の採用や入社後の活躍に向けた取組を推進
- ✓ 自治体や大学等と連携した高度外国人材の受入企業の発掘

(参考) 国際化促進インターンシップ事業

- **高度外国人材の活用**に意欲的な中堅・中小企業に対し、海外大学の学生等のインターン受入れ機会を提供することを通じ、**海外情報の獲得や高度外国人材の社内受入体制の整備などを目指す。**

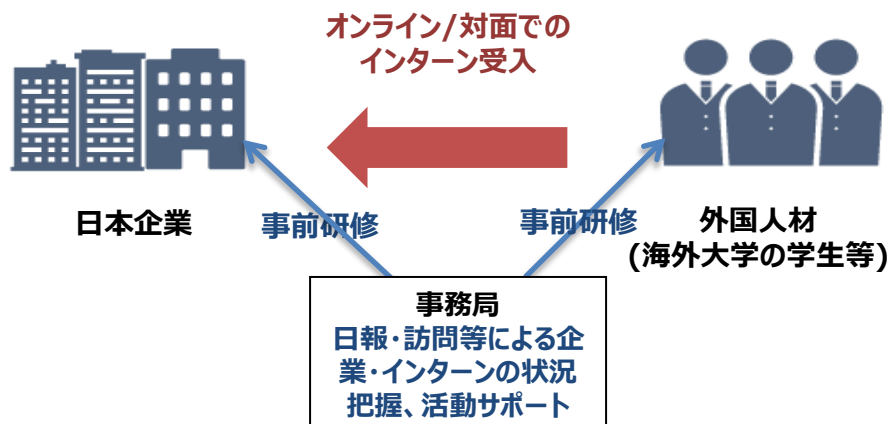
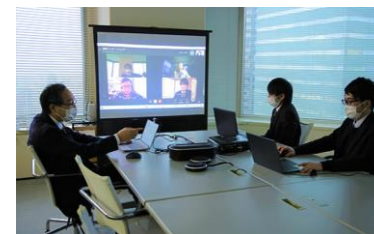
※令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大による影響を考慮しオンラインで実施。R4年度以降はオンラインと対面で開催。

<事業の流れ>

- インターンは、事務局による書類・面接選考を経た後、企業とのマッチングにより決定。
【主な要件：所属大学からの在学証明書・推薦書、日本語能力（N3以上）又は英語力など】
- インターン期間中は、受入企業での活動のほか、事務局において、異文化理解などの事前研修や、中間フォローアップ研修、成果報告会などを開催。また、インターン生の活動をサポートするため、インターン生からの日報による活動把握のほか、インターンに対して専属コンシェルジュを配置。

<R4年度実績>

	企業	インターン
応募	239社	4,533名
実績	101社	141名 オンライン：38名 対面：103名



【参加企業へのアンケート結果】 Q: インターンシップで当初 目指した主な成果は？

(上位3つ)

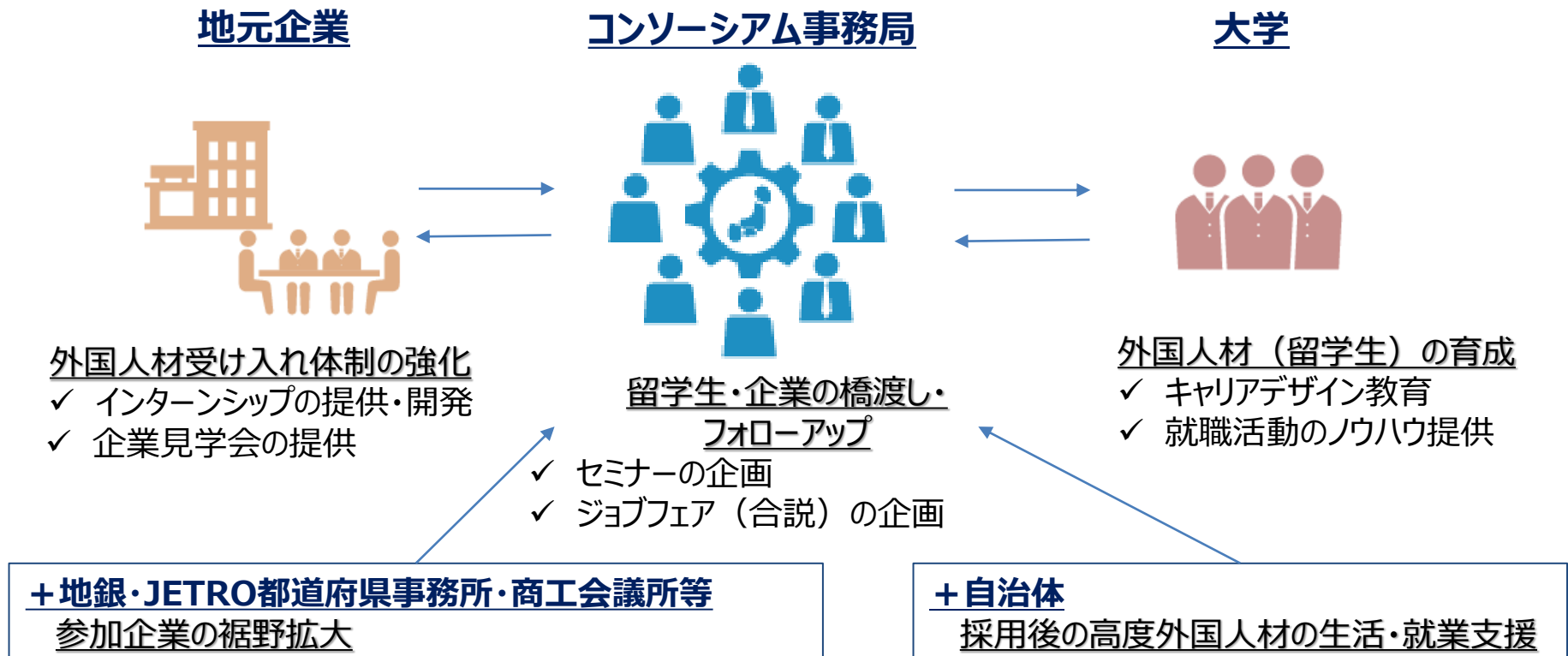
- ✓ 組織活性化
- ✓ 異文化コミュニケーション向上
- ✓ マネジメントの向上

【参加企業へのアンケート結果】 Q: インターン受入の結果、実際に 達成できた主な成果はどのよう なものでしたか？

- ✓ 異文化理解・国際感覚の向上・組織の活性化・マネジメント能力の向上 (約100%)
- ✓ マーケティング・市場分析の実施、売上につながる営業ツールの開発・改良 (約88%)

(参考) 高度外国人材活躍地域コンソーシアム事業

- 高度外国人材活躍地域コンソーシアムは、その目的を高度外国人材の活躍推進による中堅・中小企業の海外展開促進・地域経済の活性化として位置づけ、各地域の実情に応じ域内の関係者（大学、経済団体、企業、金融機関、自治体等）をメンバーとするコンソーシアムを構成し、関係者間の連携強化を通じて、高度外国人材のリクルーティングを促進する。
- R 4 年度には 2 地域（北陸・関西）で、R 5 年度には 1 地域（北海道）で立ち上がり済み、年度内に 3 地域（東北・中国・九州）でも立ち上がる予定。



(参考) 寄付講座

- 開発途上国の大学等の在学生、もしくは日本の大学等に在籍する開発途上国からの留学生を対象に、企業の事業活動や産業の発展の要となる技術分野に関する寄附講座を日本企業・現地日系企業が開設する際の費用の一部を補助。
- 受講生が講座、インターンシップを通じて、日本企業・現地日系企業で求められる能力を向上させ、これら企業への就職につなげることで、事業活動の円滑化及び当該国との協力関係の深化に貢献する。

日本企業/現地日系企業
(申請法人)



寄付講座開設

現地大学等

講座
(講義・演習等)



学生

卒業後就職

高度技術の知識習得/
日本企業に関する理解浸透

本日の内容

1. 開会

2. 事務局資料説明

3. プレゼンテーション

- a. 高度外国人材の活躍に必要なDE&I（東京経済大学 小山准教授）
- b. 日立製作所における人財施策（株式会社日立製作所様）
- c. 海外採用・定着に向けたI&Dの取組みについて（株式会社メルカリ様）

4. 意見交換

5. 閉会